

## 単元名 命を育てる水

### 1 学年

小	中
1	1
2	2
3	
4	
5	
6	

### 背景

5学年の児童は、4年生で、生活には水が欠かせないことを具体的に社会科で話し合ってきた。そこで、生きものに安全な水を欲しているのは人間だけではなく、たくさんの動物や植物も皆同じであり、言い換えるとそれは山や森や川といった環境を守ると言っても良い。さらに、生活水に限らず水はもともと資源として限りがあり、子どもたちの住環境にある自然の緑や水辺の生き物すべてに密接に関係があることも学んできている。そこでの身近な環境にある動植物に興味・関心をもたせ生き物と環境について考えながら「命を育てる水」というテーマで生物と環境保全の大切さについて着目させながら山や川、印旛沼へと目を向けるようにしていく。

### 2 教科・領域

国語	生活
社会	家庭
算数	図工
数学	道徳
理科	総合

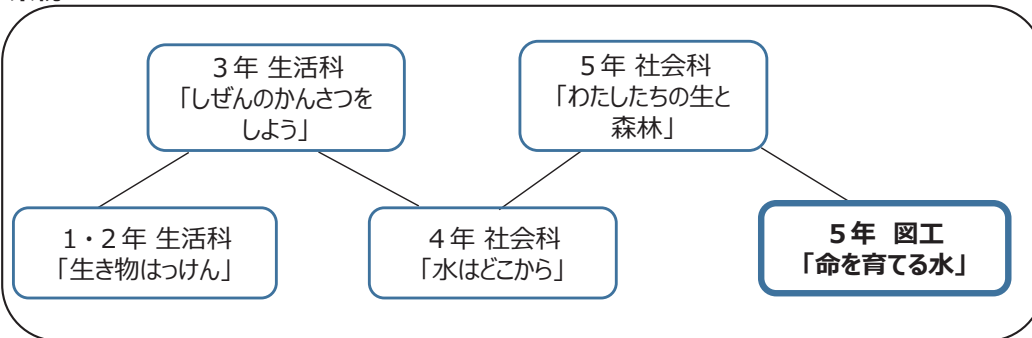
### ねらい

- ポスターをつくることに興味をもち、自分の思いを明確にして取り組むことができる。
- 自分の思いが伝わるような絵と言葉の組み合わせを考えることができる。
- 表したい感じや用途に合わせて、ポスターの表現を工夫できる。
- 友人の作品の意図を考えたり、様々な表し方の特徴について話し合ったりして、よさを感じ取ることができる。

### 3 見方や考え方

多様性  
 関連性  
 空間的広がり  
 時間的変化

### 系統



### 4 資質・能力

知識・技能  
 思考力  
 判断力  
 表現力  
 主態度

### 資料・準備・関連機関等

資料 ・『新しい社会』東京書籍  
 ・『いんば沼～むかし、いま、そしてあした』財団法人印旛沼環境基金、株式会社弘文社、平成20年

### 5 指導時間

・準備  
 ・授業時間  
 6コマ(45分/コマ)

### 指導計画

時配	学習内容
1 (本時)	ポスターに表したいことについて考え、アイデアを練る。
2～5	アイデアをもとにポスターに表す。
6	できたポスターを掲示したり、鑑賞したりする。

## 本時でねらう見方や考え方

ポスターをつくることを通して、身近にどんな水があり、その水が人間に役立っているばかりではなく、生き物を育む水であることに気づくことができる。

本時の指導 1 / 6

(1) 目標 生きものにとって水は大変重要である事を理解し、ポスターの制作を通して、環境保全に関心を持つ。

(2) 展開

学習過程	時配	学習活動と主な発問(◎)	指導や支援(・)評価(☆)	資料
つかむ	5  10	1 身近な水について想起する。 ・人の体に含まれる水について ・生活の中の水について ・ワークシートに記入しながら考える ・どんな場所に生きものがいるだろう？ ・そこに、どんな生き物が住んでいるだろう？ ・知っていることを伝え合う。 ・居場所と生き物のつながりも考える チョウ バッタ ザリガニ カエル メダカ カモ オタマジャクシ カメ スズメ ツバメ ・生きものたちの今を吹き出しにする。	・水の大切さを想起し、水は生き物を育てる大切な役割をしていることを知らせる。 人と水・・・命と水 生活と水 ワークシートを活用させる 身近に水のある自然と生き物について  ・自然と生きものについて関心を持たせる。 ・どんな環境が生き物に住みやすいのか考えさせる。 ・吹き出しをつくり、生きものの気持ちを考えさせるとメッセージをつくりやすい。	体と水の図 生活自然 水の写真 ワークシート 生き物の絵や写真 生き物と水・環境図 アイデアスケッチ用紙
	25	2 ポスターに表したいことについて考え、アイデアスケッチに表す。 ・自分の思いが伝わるような絵を考える。 ・文字は「命を育てる水」に統一する。 ・形や色、用途、言葉などから発想する。 ワークシートを活用する アイデアスケッチをする  ・友達のアアイデアスケッチに込められた願い や思いデザイン上の工夫を聞きながら、次時への意欲を持つ。	・「命を育てる水」について身近な生き物を例に絵のモチーフを考えさせる。 ・自分の思いを生きものや自然を通して訴えさせる。 ・ワークシートには自由にかき込みをさせアアイデアスケッチと併用して活用させる。 ☆色のイメージは色鉛筆を使って着色させる。 ☆対話し、その思いを引き出すような指導を行ったり、参考作品を紹介したりする。  ・アイデアスケッチが進んだ児童を紹介し、次時の予告をする。	

身近な自然と生き物を育てる「命を育てる水」について、ポスターで表そう

(3) 板書計画

身近な水ってどんなものがあるだろう

1 水のイメージ 人は・・・  
人の体と水 人体の70%は水  
生活の中の水 自然の中の水



2 ワークシートで考えよう

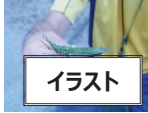

- ・生きものが住んでいる場所
- ・住んでいる生きもの

チョウ バッタ トンボ カブトムシ  
ザリガニ オタマジャクシ メダカ

生きものは水がないと生きられない

「命を育てる水」についてポスターで表そう

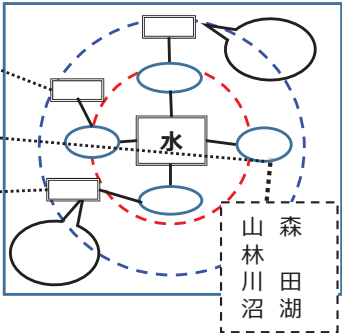



生き物のイメージ

参考資料

インターネット 図鑑

ワークシート



自然の場所のイメージ

山林 森  
川 田  
沼 湖

資料等

(1) 資料及び使い方

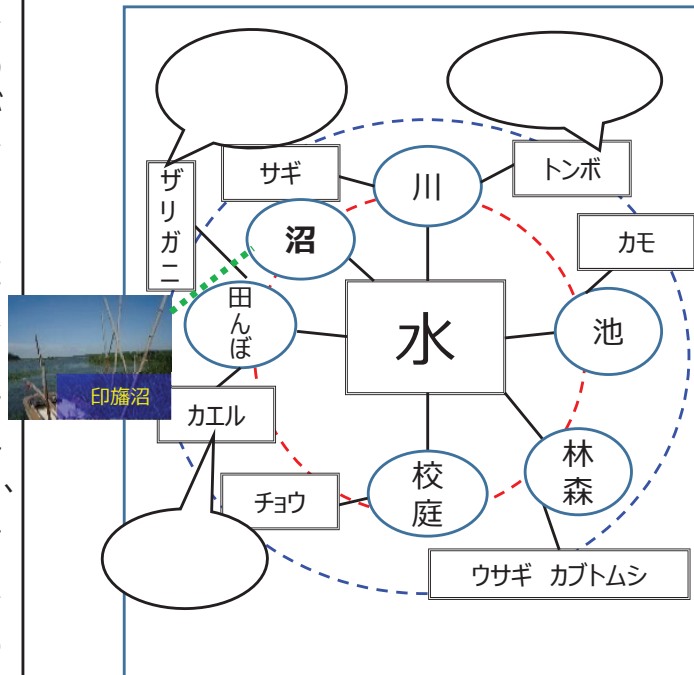




## (2) ワークシートの使い方

### ワークシート活用の仕方

- 1 生きものが住んでいる場所  
ワークシートには、まず「水」を中心に考えていく。その次に赤の点線の同心円の位置に生き物が「住んでいる場所」を児童の意見を聞きながら記入していく。
- 2 住んでいる生きもの  
青の破線の位置に、その場所に住んでいる生き物を挙げさせ記入していく。
- 3 生きもののつもりになって吹き出しを書く。生きものの立場になって考えることで、生き物がどのような場所で、どのように育て欲しいのかを考えるさせる。
- 4 ワークシートを活用し、イメージを膨らませる中で、常に「命を育てる水」というテーマを意識させる。
- 5 沼等がすぐ近くになくとも水源として貴重な存在であるので、紹介していく。



## (3) 授業のポイント — テーマについて —

- ・ポスターは見る人にあることを訴えかけることが目的であることを意識させる。  
絵やデザインからどのような感情や情景が想起されるのかを考えながら構想させる。
- ・「命を育てる水」というテーマを繰り返し子どもに投げかけ、「水」「生命」「環境」といったことからイメージできるデザインになるよう助言する。
- ・まわりの環境や風景は実際とは違ってよいことにする。自由に想像的に構想させることで、そこに子どもなりのお話や物語があると絵にも説得力が出てくる。

## (4) 留意点 — ポスターを描かせるにあたり —

- ・生きものの絵については、インターネットや図鑑を参考にしてもよい。  
想像で描くことは、児童にとって難しい。
- ・生き物の絵はリアルな方がよい。むしろ生きものとその背景や文字との配置といった全体のデザインに子どもの力を注がせたい。
- ・ポスターに入れる文字は「命を育てる水」に統一する。言葉の範囲が広いほど子どもは自分なりの主題、絵・構図を自由に考えやすいと考える。
- ・文字は別の画用紙に書き、色を付ける。
- ・文字は輪郭を付けても付けなくてもよいが、絵と対比させ効果的な配色とさせたい。
- ・文字を切り取りポスターのどこに配置するか何度も微調整させる。文字の配置や大きさは各自違うので、そのレイアウトを考えさせるのも大切な学びの要素である。